

# 【 第8回 女子ユースアジア選手権 】

2019年8月20日～8月30日 開催地:インド

## 試合結果報告 8 月 21 日 ( 水 )

JAPAN	vs	チャイニーズタイペイ
19	1st	12
18	2nd	10
	ex	
	ex	
37	TOTAL	22

### 個人得点

No.	ポジション	NAME	1st	2nd	ex	ex	TOTAL
1	GK	加藤 愛望					0
2	PV	中嶋 紗央		4			4
4	CB	松浦 未南	5				5
5	LW	掛本 梓乃	1				1
7	CB	福井 すみれ		3			3
8	RW	鶴田 文乃		2			2
9	LB	藤原 ひなた	3				3
10	LB	西田 瑞歩		3			3
11	RB	布施 蓮		3			3
12	GK	中村 理乃					0
13	RW	萩尾 ほのか	7				7
14	RB	石川 空	2				2
15	PV	伊藤 結衣	1				1
16	GK	比嘉 楓					0
17	LW	坪井 詩					0
18	LB	升澤 結菜		3			3
TOTAL			19	18	0	0	37

### 戦況

<p>本大会初戦のチャイニーズタイペイ戦は、日本のスローオフで始まった。程よい緊張感のもと、RW萩尾の鋭いサイドシュートを皮切りに4連取する。ここで早くもチャイニーズタイペイがチームタイムアウトを請求、7人攻撃での立て直しを図ろうとするものの、日本の勢いは止まることなく、一気に9-0までリードを広げる。</p> <p>ようやくチャイニーズタイペイが初得点を挙げるが、その後もCB松浦の安定したゲームメイクが光り、19-12とリードして前半を終了する。</p>
<p>後半もチャイニーズタイペイにゲームの流れを渡すことなく終始、日本のリズムでゲームが展開され、重要な初戦を勝利で飾った。</p> <p>組織的に先取りするDFが機能し、加藤、中村、比嘉のGKトリオの活躍が光った内容であった。その一方で、PVによるOFファールについて、国内の判定基準との違いに戸惑う場面も見られた。</p> <p>次戦のウズベキスタン戦では、さらに相手とジャッジの笛の基準を冷静に観察し、クレバーに対応していくゲームをしていきたい。</p>

報告記入者 :

小川 至門